



REHACARE 2022 福祉機器展と 福祉用具を廻るリハケア視察

訪問都市：ケルン・デュッセルドルフ及び近郊都市(ドイツ)

- 世界最大の国際福祉機器展 REHACARE2022 に参加（ドイツ・デュッセルドルフ市・通訳同行）
2022年7月の時点で521社の出店が決定！
- REHACARE 2022 のメインテーマ(自立生活、在宅ケア支援、モビリティ、新技術の活用)
- REHACARE 出展メーカーのブースにて注目福祉用具・新技術の製品説明(団長・副団長による
選択と推薦)
- カリタス高齢者介護施設(地域ケアの拠点、デイケア・地域支援)
- 福祉用具ショップ(ザニートハウス)訪問・講義と見学及びケルンのシュトルツ社の自由
視察(商品ラインアップ)
- 日本の福祉用具業界の交流と情報交換(夕食懇親会を開催)
- 視察終了後にアジアとヨーロッパの交差点、イスタンブールを見学

<旅行期間と旅行代金>

2022年9月12日(月)～9月19日(月) ¥558,000(展示会及び視察費用を含む)

(注)：別途に燃油サーチャージ・空港諸税等約¥120,000が必要となります。

日本帰国のために現地でPCR陰性証明書を取得する必要があり、検査費用実費がかかります。

日本国内の空港からご出発の方は国内線乗継割引運賃がご利用できます。

現地滞在延長や経由地での延長等ご相談に応じます。

募集人員：20名様(視察先の受け入れ定員がありますので、お早目にお申込み下さい。)

(注)今回のご旅行はワクチンを3回以上接種したかたを参加資格者とさせていただきます。



共同企画：(公財)テクノエイド協会 (一社)日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)
コーディネーター：渡邊慎一(横浜市総合リハビリテーションセンター)
後援：(一社)日本福祉用具供給協会 (一社)全国福祉用具専門相談員協会
協力：メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン(MDJ)

視察会議展示会手配：CBRコーディネーション 外村龍生
〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘4-22-38
TEL(FAX)：045-901-7068 / e-mail: t-tonomura@coda.ocn.ne.jp

旅行企画手配実施：株式会社東京国際ツアーズ
(観光庁長官登録旅行業第1353号・日本旅行業協会・JATA正会員)
〒116-0002 東京都荒川区荒川3-74-6-301 担当：川上尚志
TEL：03-6806-7820 / e-mail: kawakami@ti-tours.com

起案日：2022年7月14日

■ご参加のおすすめ

< ご挨拶 >

当協会は、1987年4月に設立され、全国唯一の福祉用具に関する公益的ナショナルセンターとして、福祉用具の開発推進、普及促進と福祉用具関係技能者、認定補聴器技能者の養成・研修に努めてまいりました。

さて、今年9月にドイツ・デュッセルドルフ市のヨーロッパ最大規模の国際リハビリテーション・福祉機器展「REHACARE2022」が開催されます。また、2022年6月11日(土)より、ドイツへ入国する際の新型コロナウイルス(COVID-19)による制限はすべて、当面の間解除されました。

当協会では、日本福祉用具・生活支援用具協会との共同企画により、海外視察研修を企画いたしました。REHACARE2022のメインテーマは「自立生活・在宅ケア支援、モビリティ。新技術の活用」で、現在521社の参加申し込み(7月5日現在)がされています。福祉用具関係の企業は勿論のこと、リハケア、医療ケア関係等の多くの団体も出展参加する展示会です。それに併せて、高齢者介護施設(地域ケアの拠点、デイケア、地域支援)、福祉用具ショップ(ザニートハウス)の訪問・講義と見学などを行います。

今回も、前回に引き続き、福祉用具の専門家である横浜市総合リハビリテーションセンターの渡邊慎一 副センター長(元厚生労働省老健局振興課福祉用具・住宅改修指導官)に、コーディネーターとして参加していただき、専門職の立場から福祉用具への関わり方と活用の実際についてご指導いただきます。

介護現場で専門職として活躍されている方、福祉用具の研究開発や製造・供給に関わる方、保健福祉の行政に携わっている方など多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

公益財団法人テクノエイド協会
理事長 大橋 謙策

■海外研修ご挨拶

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)では、福祉用具の安全性や利用効果等について調査研究を行うだけでなく、福祉用具に関する普及・啓発を行い、その結果として、わが国の福祉用具業界の発展に寄与する活動を行っております。

JASPAでは、国内市場の開拓だけでなく、海外市場開拓のため4年間に亘りデュッセルドルフで開催される「REHACARE 展」に出展した経験もあり、日本製品について機能性、デザイン等について評価が高く、欧州においてもマーケットがあることを確認しています。今後、日本企業が海外に進出するにあたり、世界各国の新しい福祉用具の機能やデザイン等の新しい流れを知ることが非常に重要ですが、そのためには「REHACARE 展」を視察することがもっともふさわしいと考えています。

今回の海外視察研修は、コロナウィルス感染対策の関係もあり視察対象に制約がありますが、3年ぶりに「REHACARE 展」の視察ができますので、特に産業界からのご参加をいただきたく存じます。

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会
会 長 花岡 徹
国際交流部会長 池田 茂

■視察のポイント

2000年からスタートした介護保険は高齢社会を支える仕組みとして定着しました。介護保険の居宅サービスでは、福祉用具の利用率が最も高く、高齢者にとって福祉用具は大変身近なものとなっています。また、今後の生産年齢人口の減少を見据え、ロボット技術を利用した福祉用具の開発・普及を促進する国レベルでの事業が推進され、開発された介護ロボットの高齢者施設への導入支援政策の拡充、アシスト機能付き歩行器、高齢者施設での夜間の見守り装置などが介護保険で評価されるなど、介護現場でのテクノロジーの活用が進められ、ますます福祉用具の社会的注目度は高まっているといえます。高齢社会に関する課題先進国である日本のこれらの取組みは海外から注目をされる一方で、海外においても様々な福祉用具が開発され活用が図られています。

人的なサービスと異なり福祉用具は高齢者や障害者の生活動作の自立を直接的に支援することができ、介護負担の軽減にも役立ちます。全国各地で開催される福祉用具の展示会は福祉用具にかかわる専門家や利用者にとって、新しい福祉用具の情報収集の場となっています。視察するREHCARE 2022は、ヨーロッパ最大規模の展示会で、世界中の優秀な福祉用具や生活支援機器が一堂に会する場です。COVID-19によるパンデミックのため中止されていましたが、いよいよ再開されます。(REHCARE is finally back!) 海外の福祉機器展と日本のそれと比較してみると、全体の雰囲気や来場者層の違いがよく分かります。展示されている福祉用具は性能や使い勝手もさることながら、色使いやデザインの素晴らしさに圧倒されることがしばしばです。福祉用具を見て、実際に触ってみると、機能や適応を考える機会になるはずです。

ドイツでは展示会の視察だけでなく、福祉用具ショップ(ザニートハウス)と高齢者介護施設を見学します。福祉用具を含むテクノロジーが医療や介護現場でどのように活用されているのか、多くの情報を意欲的に吸収して下さい。

わが国では、高齢社会、人口減少等のなか社会保障制度のあり方について見直し議論がさまざまな場で行われています。諸外国の福祉用具やその支給体制を知ることによって、高齢者や障害者の自立を支援することともに、我が国は今後どうあるべきかについて考えるきっかけになればと思います。

視察中はご参加の皆様とできる限り多くの時間を共有し、語り合える機会を持ちたいと考えています。

コーディネーター 渡邊 慎一

■コーディネーターの紹介

渡邊 慎一(わたなべ・しんいち) 1961年生まれ

履歴:

横浜市総合リハビリテーションセンター 副センター長

(元 厚生労働省 福祉用具・住宅改修指導官)

厚生労働省老健局 参与(介護ロボット担当)

一般社団法人神奈川県作業療法士会 顧問

一般社団法人福祉用具専門相談員協会 理事

著書:

地域リハビリテーション・マニュアル(共著 三輪書店)

福祉用具専門相談員研修指導テキスト(中央法規出版)

福祉住環境コーディネーター2級テキスト



■REHACARE2022(国際リハビリテーション・福祉機器展・2022 デュッセルドルフ

今年もヨーロッパ最大規模の国際リハ・介護・福祉機器展が開催される。障害者や高齢者が快適にいきいきと生活できるよう、約 32,000 m²の展示面積(5-ホール)に 8,000 点を超えるリハ機器・介護機器・福祉用具などが出展される。前回・2019 年には 43 国から 751 の企業・団体が出展し、エンドユーザーと家族及び多くの病院・施設の専門家、商談を目的とする販売・レンタル業者など約 40,000 人の入場者があった。今年度も展示面積・出展者・来場者の維持に努めており、開発商品など展示の充実が約束される。近年の主要テーマは障害者・高齢者のアクティブな自立生活と在宅への支援であり、特にイノベティブな福祉機器・用具、新技術(IoT・AI 等)を駆使したモビリティ機器・福祉車両など幅広くラインアップされ更なる展示の充実が図られる。会場では展示会と平行し、公開討論会、ワークショップ、芸術展、スポーツアクティビティが立体的に同時開催される。メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンは日本からの出展企業を募集中で前は3社であったが、今回は(株)加地及び他1社が予定されている。商談実績も増え、過去4回JASPAがジェットロ等と協力し日本の福祉用具企業 10 社以上をまとめ出展した経緯もある。当視察団としては**今回の注目商品の出展企業ブースを団長(副団長)と共に訪ね、通訳も同行させ新製品のデモンストレーション・質問会**も行う予定である。

(REHACARE 2019 より展示会場ホールと展示ブースの一例)



会場:デュッセルドルフ見本市会場 (Messe Dusseldorf) **会期:**2022 年 9 月 14 日(水)~17 日(土)

詳細情報:メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン(MDJ) 専任担当 服部浩徳氏

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ・ガーデンコート 7F

Tel:03-5210-9951 Fax: 03-5210-9959 e-mail: hattori@messe-dus.co.jp Web: www.messe-dus.co.jp

<視察対象概要>ドイツ:ケルン・デュッセルドルフ及び近郊都市

現地視察先の都合により、**人数制限**があります。ケルンのザニテートハウス・Stortz は自由見学(通訳同行)となります。

現地協力者:ドイツ:口羽洋子さん及びデニス・ミュラーさん(通訳・調査)

■ザニテートハウスの自由見学

SANITAETSHAUS STORTZ(福祉用具ショップ・シュトルツ社) ケルン 9月13日 午前 視察①

ケルン往路は列車利用。通訳同行。Stortz はケルンにあるこの地方では最大の福祉用具ショップで、3階に分かれ福祉用具・リハ機器・整形外科機器(義肢装具)・介護用品・衣料品・健康機器など幅広い商品を扱っている。療法士・義肢装具士(マイスター)など専門家が対応。営業員は施設へのサービスも担当している。営業中故、自由に店舗・商品を見学する

■SANITAETSHAUS MUNNY ORTHOPAEDIE GmbH (Gesundheitscenter), Bergisch-Gladbach

(ザニテートハウス・ムニ・オルトペディー有限会社・健康センター) 9月14日 午後 視察② 交渉中

1979年創業し、デュッセルドルフから1時間の Bergisch-Gladbach に本部と3店舗がある。本部にある義肢装具の工房では、製造の3Dプリンター等によるデジタル化を進めている。主な取扱商品は、整形靴・オーダーメイドサンダル・種々のインソール・義肢・装具(小児用含む)・バンデージ・コンプレッションタイツ・杖・歩行器・入浴機器用具等で、介護ベッドや車いすなどの大型機器はオンライン・ショップ(カタログ・通信販売)にて対応している。在宅介護が必要になった顧客には住宅改造などに関するカウンセリングも行っている。①製造と販売への組み分け・素材業者との関係②施設への販売・メンテナンスと第三者支払い(医療保険・介護保険)の仕組み③一般福祉用具(車いす、介護ベッド・リフトなど)及び在宅介護用品(小物)の販売促進・・・カタログ販売・インターネット販売等への展望などの説明を受け質疑応答及び店内を見学する。

視察予定②(本部)



視察予定② (工房)



視察予定② (店舗)



■高齢者介護施設・老人ホーム(Caritas-Altenzentrum St. Hildegard) 9月14日 午前 視察③

Duesseldorf 近郊の Duesseldorf-Rath の St. Elisabeth にある高齢者施設。ローマカトリック系の Caritas Duesseldorf により運営されている。1950年代に設立された高齢者入居介護施設。2018年のノルライン・ヴェストファーレン州法の新しい規制により一人部屋の割合は最低 80%が必要となった故、改築・建設することになり、最近解説された。一人部屋を中心に夫妻用の2人部屋、ショートステイ用とディーケア用のファシリティーも提供する。1階には地域ケアの拠点として近隣の住民も利用できるカフェ、多目的室とチャペルがあり、幅広いテラスと庭園もある。身体と精神の健康を保つため様々なアクティビティ: 図画、ニーズに合わせた体操(車椅子利用者と認知症入居者ように特別の運動提供)、ビンゴなどのゲームイベント、工作、歌などを提供している。Grath 地区の専門医、セラピスト、薬剤師と緊密に協力・連携している。ローマカトリックの人間像に基づいて介護を行っている。近くにホスピスも併設されている。

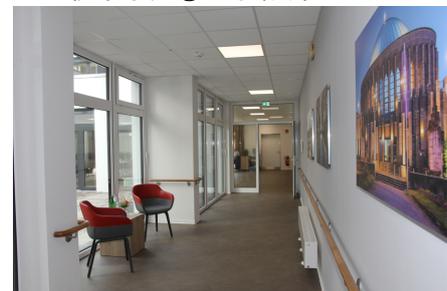
視察予定③(施設外観)



視察予定③ (施設内部)



視察予定③ (施設廊下)



その他自由見学可能なショールーム

KAPHINGST ONLINE GmbH, REHASHOP.de(オンライン・ザニテートハウス・カピンストのショールーム)

デュッセルドルフ (営業時間: 月-金 10-18 時)

REHA-TEAM-WEST デュッセルドルフ(営業時間: 月-金 9-18 時)

APPELRATH KEMPER ケルン (営業時間: 月-金 9-18 時、土 10-14 時) Stortz から徒歩 5 分。

視察① (Storts 外観)



視察① (Stortz 内部)



自由見学 (Rehashop 外観)



< REHACARE 2022 視察コース 8日間 日程表 >

2022年	場所	交通機関	時間	展示会コース
9月12日 (月)	羽田	航空機	夜 深夜	羽田空港に集合 羽田空港発 宿泊：機内泊
9月13日 (火)	乗り換え地 デュッセルドルフ ケルン デュッセルドルフ	航空機 専用車	早朝 朝 午前 夕方	乗り換え デュッセルドルフ空港へ 空港着、EU入国審査 視察①ザニテートハウス【Storts社】自由見学 ホテル着 宿泊：The Living Hotel Dusseldorf泊
9月14日 (水)	デュッセルドルフ	専用車	午前 午後 夜	視察②ザニテートハウス（予定） 視察③高齢者介護施設・老人ホーム視察（予定） 近隣レストランにて懇親会 宿泊：The Living Hotel Dusseldorf泊
9月15日 (木)	デュッセルドルフ	地下鉄	朝 終日	REHACARE展示会へ REHACARE展示会視察（各自昼食） 通訳配置 視察(代替日) 宿泊：The Living Hotel Dusseldorf泊
9月16日 (金)	デュッセルドルフ	地下鉄	朝 終日	REHACARE展示会へ REHACARE展示会視察（各自昼食） 通訳配置 視察(代替日) 宿泊：The Living Hotel Dusseldorf泊
9月17日 (土)	デュッセルドルフ デュッセルドルフ イスタンブール	専用車 飛行機 専用車	朝 昼 午後	ホテルから空港へ トルコ航空でイスタンブールへ イスタンブール空港着 帰国のためのPCR検査 ホテルへ 宿泊：イスタンブール
9月18日 (日)	イスタンブール イスタンブール	専用車 専用車	終日 夕方 深夜	イスタンブール市内視察 ホテル着、休憩 ホテルチェックアウト、空港へ
9月19日 (月) (祝)	イスタンブール 羽田	飛行機	深夜 夜	羽田空港へ 羽田空港着

* 視察先は交渉中の箇所を含みますので、視察対象名および訪問順序が変更になることがあります。

* ドイツ滞在中の視察・展示会場での通訳は、全員に対し1名の予定です。

* 実施時に利用交通機関の発着時間が変更になることがあります。

デュッセルドルフ見本市会場

世界遺産【ケルン大聖堂】

世界遺産【イスタンブール歴史地区】



< ご旅行代金 >

8日間（6泊8日） ￥558,000（1人部屋追加代金 100,000円）

※ご旅行代金は、お一人あたり、2名1室利用時の費用になります。

※空港税等の諸税、燃油サーチャージ（約¥120,000）は含まれておりませんので、別途必要となります。

※日本帰国のため、現地にPCR陰性証明書を取得する必要があります、別途検査料実費をいただきます。

※両コースともに国内線乗継の割引運賃がご利用できますので、お問合せください。

※ツアー利用以外の航路を希望する場合には別途お問合せください。

■利用航空会社：トルコ航空

■募集定員：定員：20名（最少催行人員10名）

*10名以上の参加でツアーを実施いたします。（添乗員は同行せず、現地係員が対応します。）

*15名以上の参加で添乗員が1名同行いたします。

■申込締切日：7月29日（金）※締切日後も、空席があれば参加可能です。

■宿泊ホテル：

デュッセルドルフ The Living Hotel Dusseldorf（4つ星クラス）

*ホテルは利用予定になりますので、同等クラスのホテルを利用する場合があります

（The Living Hotel Dusseldorf）



< ご旅行条件（要約） >

このご旅行は株式会社東京国際ツアーズ（以下、当社といいます）が、企画する旅行となり、この旅行に参加されるお客様は弊社と募集旅行の契約を締結していただくこととなります。詳しい条件は本パンフレット、旅行条件書、出発前にお渡しする確定書面及び旅行約款になります。

■参加費用に含まれるもの

1) 航空運賃：往復団体エコノミークラス 2) 宿泊代金：ホテル2名1室 3) バス代、ガイド代：送迎、視察、観光時の移動費用 4) 視察代：通訳代、コーディネート料、視察先（病院・施設）への寄付、講義料、会議室代金、資料作成費用、展示会入場券、展示会カタログ代金 5) その他：企画型募集旅行保険代金 6) 食事代金：日程中に明示したもの 7) 添乗員：15名以上の参加で両コース合わせて1名の添乗員が同行します。

■ご旅行代金に含まれないもの代表例

1) 国内交通費：成田空港までの交通費、国内線乗継運賃、前泊代金など 2) 燃油サーチャージ、空港税等：120,000円程度（2022年7月15日現在） 3) プレミアムエコノミー、ビジネスクラス追加代金：別途お問合せください。なお追加代金は予約クラスにより変動しますので、お早目にお申込みください。 4) 1人部屋利用代金：100,000円、展示会コース 5) 個人的費用：別行動費用、飲み物代金、電話代金等個人的費用、海外旅行傷害保険代金、渡航書類作成費用 6) 査証費用：日本国籍のかたは査証は不要です。 7) 日本帰国のためのPCR検査費用（約100ユーロ程度）

この旅行条件は2022年7月1日を基準としています。旅行代金は作成日現在有効な団体航空運賃及び運用規則に基づいて算出しています。

■取消料規定について

旅行開始日の前日から起算して31日目以前の取消に関しては旅行費用を全額返金します。

30日目にあたる日以降から3日目にあたる日までは旅行代金の20%、旅行開始日の前々日から出発当日は旅行代金の50%、旅行開始後の取消及び無連絡不参加は100%をいただきます。

■旅行企画手配実施：株式会社東京国際ツアーズ <http://www.ti-tours.com>

（観光庁長官登録旅行業第1353号・日本旅行業協会・JATA正会員）

〒116-0002 東京都荒川区荒川3-74-6-301

担当：川上 総合旅行業務取扱管理者：川上 尚志

TEL：03-6806-7820 / e-mail：kawakami@ti-tours.com

■視察会議展示会手配：CBRコーディネーション 外村 龍生

〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘4-22-38

TEL (FAX)：045-901-7068 / e-mail：t-tonomura@coda.ocn.ne.jp

REHACARE 2022 ご参加申込書

この申込書は渡航書類を作成する基本データになります。もれなく正確に楷書でご記入ください。 お申込日： 月 日

フリガナ 氏名 (漢字)	(姓)	(名)	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	国籍	<input type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> その他()	煙草	<input type="checkbox"/> 喫煙 <input type="checkbox"/> 禁煙
パスポート Name (0-7字)	(姓/Surname)	(名/Given Name)	生年 月日	西暦	年	月	日 (年)
フリガナ 現住所	〒 —						
電話番号： — — メールアドレス：							
勤務先	会社名	〒 —		所属先			
	住所	電話番号： — — メールアドレス：					
緊急連絡先 (日本国内)	お名前：			続柄：			
	住所：			電話番号：			
書類の送付先	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅住所 <input type="checkbox"/> その他(住所等をご記入ください)						
個室希望	<input type="checkbox"/> 2名1室で良い <input type="checkbox"/> 1名1室を希望する(追加料金がかかります)						
国内線乗り継ぎ	希望がありましたら右記に記載願います。						
■2022年12月17日以降も有効なパスポートをお持ちですか？ ヨーロッパへのご旅行には出国時に3か月以上の有効期限が必要です。 お申込時にパスポートの顔写真ページのコピーもご提出願います。							
備考	お部屋割りの希望や、ビジネスクラス利用の希望等ありましたらご記載ください。						